

「文脈化」という視点

—「知っている」と「使える」をつなぐ試み—

講師：太田陽子先生

(一橋大学国際教育センター准教授)

日時：平成30年 9月29日 (土) 14:00～17:00

会場：岡山大学一般教育棟C棟 2階C22教室

《講師からのメッセージ》

クラスで「習った／教えた」文法が、実生活ではどこかうまく使えないというのは多くの学習者／教師に共通の課題だと思います。その一因に、「その表現をいつ使うのか＝文脈」ということが十分に理解されていない可能性はないでしょうか。この講座では、初級で導入される「～である／～ておく」や「やりもらい」といった表現を取り上げて、「使用文脈」という観点から一緒にその「難しさ」の要因を検討していきたいと思います。

【参加申し込み】ご希望の方は9月19日(水)までに下記にてお申し込みください。受講は無料です。

<https://goo.gl/forms/n9DDzQDe9pa5a9uv2>

※ 講座終了後、茶話会を予定しております。参加ご希望の方は申込時にその旨ご記入ください。

【問い合わせ先】 本田 E-mail: hondama★okayama-u.ac.jp (★を@に替えてください。)